INFO 「児童手当現況届」を受け付けています

問子育て世代包括支援センター　☎52-2169

児童手当の受給者は、毎年6月中に現況届の提出が必要です。届け出がない場合、手当の受給ができなくなります。対象者には、事前に現況届の用紙を送付しますので、忘れずに届け出をお願いします。

受け付けは下表の通り実施します。新型コロナ感染症対策のため、マスク着用にご協力ください。郵送や、マイナンバーを利用したオンライン申請も可能です。

■届け出に必要なもの

▼現況届（受け付けに必要です。必ず持参ください）

▼共済組合加入者は、受給者の健康保険証

▼その他必要に応じて書類を提出していただく場合があります

受付日時		対象地区	受付会場
6月1日㈫～4日㈮	9時～17時	宇部、侍浜、山根	元気の泉内子育て世代包括支援センター
6月7日㈪～11日㈮	9時～17時	長内、夏井	
6月14日㈪～18日㈮	9時～17時	小久慈、大川目	
6月21日㈪～25日㈮	9時～17時	久慈	
6月28日㈪	9時～16時30分	山形	山形総合支所1階研修室

※上記日時に届け出ができない人は、6月中に届け出をしてください。
その場合の山形地区の受け付けは、山形総合支所1階福祉室になります。

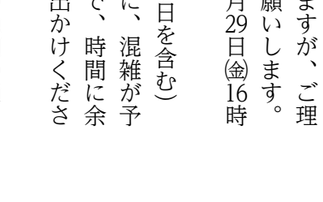
◇児童手当の概要◇

中学校卒業まで（15歳に達した年度末まで）の児童を養育している人に支給されます。

▶**支給額（月額）…**
- ❶3歳未満…一律15,000円
- ❷3歳～小学校卒業
  第1子・第2子…10,000円
  第3子以降…15,000円
- ❸中学生…一律10,000円

▶**支給時期…**毎年6月、10月、2月

※受給者の所得が一定額を超える場合、特例給付として月額5,000円（一律）を支給します。



INFO 申請書 押印廃止します

問政策推進課　☎52-2115

市では、行政手続きに必要な申請書などに押印や署名を求めていたものを見直し、順次廃止していきます。

▼**基本的な考え方…**押印と署名の義務付けを廃止し、原則記名のみとします。

その代わりに、運転免許証やマイナンバーカードなどで本人確認を行いますので、ご協力をお願いします。

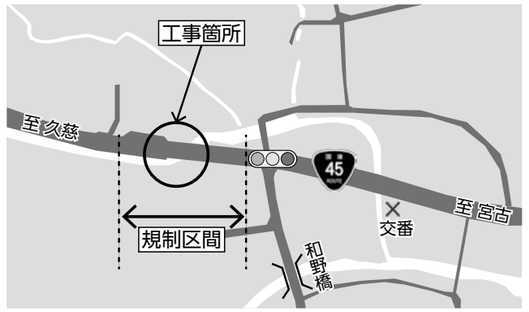
ただし、契約書や入札書など法律で押印が義務付けられているものなどについては押印を存続します。

▼**廃止する手続き…**押印は、1311件中、1099件（83・8％）、署名は96件中、33件（34・4％）を7月1日から廃止します。すでに押印が不要な申請書もありますので、詳しくは各担当課までお問い合わせください。

▼**見直し基準…**内閣府が示した「地方公共団体における押印見直しマニュアル」に合わせた「押印見直し計画」を取りまとめて、市のホームページで公開しています。

INFO 通行規制のお知らせ

問三陸国道事務所（久慈）　☎53-2790



宇部町の国道45号線では、台風19号で壊れた橋の架け替え工事のため、終日片側交互通行になります。

工事期間中、皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▼**規制期間…**10月29日㈮16時30分まで
（土・日曜、祝日を含む）
朝夕の時間帯に、混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお出かけください。

▼**規制区間…**上の地図の通り

八戸★トピックス

魚たちのオリンピック展

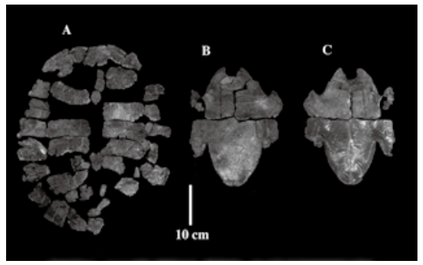
魚たちが持っている変わった特技・習性をオリンピック競技に見立てて紹介します。アーチェリーや高跳び、体操など、金メダルを目指し、キュートに競い合う、水の中のオリンピックをお楽しみください。

▶**期間…**8月29日（日）まで
▶**場所…**マリエント（八戸市大字鮫町字下松苗場14-33）
▶**入館料…**一般300円、シニア（65歳以上）150円、高校生200円、小・中学生100円
▶**営業時間…**9時～18時

問八戸市水産科学館マリエント
☎0178-33-7800

NEWS 新種カメ類化石「アドクス・コハク」

早稲田大学、平山教授論文掲載　記者発表



新種カメの模式標本（提供：久慈琥珀博物館）

久慈琥珀博物館（新田久男館長）は、4月23日、盛岡市で記者発表を行い、平成20年4月に発掘したカメの化石を「アドクス・コハク」と命名した論文が、国際誌に掲載されたと発表しました。この化石はカメの甲羅部分がほぼ完全な状態で発掘。早稲田大学の平山廉教授が調査し、スッポンの仲間であるカメ類「アドクス」の化石であることが判明しました。約260点に及ぶ追加資料も含めて調査を進めた結果、アドクスの中でも甲羅の縁に縁鱗（えんりん）と呼ばれるうろこが甲羅背中側の半分以上を覆っていることから、新種であると断定。アジアのアドクスとしては最大であり、新種のカメ類の報告は東北地方初となります。

平山教授は「東アジアが現在につながるカメ類の進化にとって重要な地域であったことが分かる。当時の一帯の気候が、現在の東南アジアのような熱帯であったと考えられる」と述べました。

今回発表された化石は8月29日まで、同館で特別展示されています。

津波避難訓練を延期します

6月から9月に変更

毎年6月15日に行っていた津波避難訓練を、9月に実施します。

今回の避難訓練は、日本海溝沿い巨大地震による最大クラスの津波浸水区域を想定し、訓練の対象地域を広げます。

津波から命を守るためには、より安全な高台へ早く避難することが重要です。

いざという時に備えて積極的に参加し、避難経路や避難場所を確認しましょう。

詳しくは、8月の広報でお知らせします。

▶**日時…**9月12日㈰7時30分
▶**参加対象地域…**❶夏井地区❷湊地区❸長内地区❹小久慈地区❺久慈地区（河北・河南）❻大川目地区❼宇部地区

問消防防災課　☎52-2173

NEWS 洋上風力発電の可能性を探る

浮体式洋上風力発電に関する研修講座

講師を務めた松尾コーディネーター

浮体式洋上風力発電に関する研修講座（長崎海洋産業クラスター形成推進協議会主催）が4月27日、ロイヤルパークカワサキで開催され、関係者20人が参加しました。

同協議会事業コーディネーターの松尾博志さんは「洋上風力は、二酸化炭素を排出しない、環境にやさしい発電である。島国の日本の海に適しており、その中でも久慈は波が穏やかで風が強く条件が整っている。洋上風力発電を活用し、地域活性化のひとつとしてほしい」と説明しました。ワークショップも行われ、浮体式風車を使い、安定した姿勢で発電ができる仕組みについて理解を深めました。

ワークショップで理解を深める参加者

また、洋上風力発電が久慈にできたときを想定し、発電の利用方法や、雇用に結びつけるにはなど、いろいろな可能性について活発に意見を交わしていました。